

ベトナムFW 7/29~8/2 医療班報告

1日目(旧市街地・寺院等視察)

私たち国際科医療班代表 4 名(尾下大知、出口大、松本理佐、山口あさ陽)はハノイ市にて研修を行いました。飛行機を降りたとき日本より少し蒸し暑い感じがしましたが、ガイドのレイさんによると、ベトナムにも四季があり 6 月が 1 番暑くなるそうです。空港からは車で移動しましたが、途中、バイクの交通量がとても多いことに驚きました。市内では、まずホーチミン廊に行きました。ホーチミンは、ベトナムの民族解放と独立を成し遂げた人物で、ベトナム人に愛され尊敬されている偉大な人物の一人です。他にも、一橋寺やホアンキエム湖、聖ヨセフ大聖堂などベトナムの有名な場所を訪れました。その後、私たちはレイさんとともに旧市街を散策しました。旧市街にはたくさんの種類の専門店が並んでおり、夕方になるにつれ、多くの人で賑わっていました。お菓子や薬草、服をはじめ額縁やドアノブなど様々な店がありましたが、同じものを売る店が何店舗も連なっているのは面白いと思いました。



↑ 1 日目 ホーチミン廊にて



↑ 2 日目 WHO にて

2 日目(国立衛生疫学研究所-NIHE・WHO)

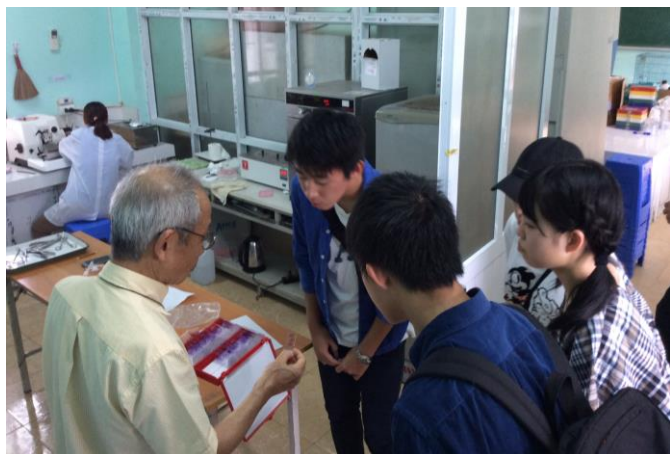
2 日目は午前中にベトナム国立衛生疫学研究所 (NIHE) 内にある長崎大学熱帯医学研究所のベトナム拠点を訪れました。今回のベトナム研修を全面的にサポートして下さった拠点長の長谷部太先生にお会いし、先生のこれまでのご経験についてお話をいただきました。中でも、様々な人と積極的にかかわりを持つことの重要性や、人と人との出会いが人生にとっても大きな影響を及ぼすという先生のお話が一番心に残りました。その後、蚊が媒介する感染症についてのお話もいただきました。世界で最も人間を殺している生物は蚊であるという衝撃的な事実から始まり、蚊媒介感染症についての基礎知識や症状の例、対策などを詳しく教えていただきました。昼食は長谷部先生とともにベトナムの伝統的な料理、「ブンチャー」や「バインフラン」をいただきました。クセのある味かと思いましたが、とてもおいしかったです。午後は WHO を訪れ、竹内百重先生より WHO についての説明だけでなく、国際的に仕事をするための心構えや視野を広げることの大切さについてについても貴重なお話をいただきました。先生は子育てをしながら、これまでにスイスのジュネーブやカンボジアなど様々な国でお仕事をされており、とても活気に満ちた方でした。私たちの質問にも丁寧に回答してくださり、男女間の医療サービスの格差やベトナムでの漢方薬の用いられ方など、今後、私たちが課題研究を進めて行くうえで役立つ貴重な情報を得ることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

3 日目(Bac Giang 農林大学)

3 日目は、ハノイの北に位置するバクジャン市のバクジャン農林大学を訪問しました。大学は周囲を農地に囲まれたのどかな町にあり、日本人の教授で JOCV シニア隊員でもある近藤博先生にお世話になりました。午前中は大学の主な施設を案内していただいたほか大学内の研究室の研究内容やその現状を紹介していただきました。日本よりも医療技術や設備が不足している異国の地で、お互いの母語が通じない中さまざまな研究を指導されている近藤先生の姿にとっても感動しました。

昼食は、大学の食堂でベトナムの伝統的な家庭料理をいただきました。日本では見るできない料理がたくさん並び、食材の種類や食べ方にも日本との文化の違いが現れていました。食事中も近藤先生や長谷部先生がベトナムを含むさまざまな国で生活する中での驚いたことや楽しかったこと、また苦労したことなどについて、ユーモアたっぷりにお話しくださり、楽しく有意義な時間を過ごせました。

午後は近藤先生に先生の研究について講義をしていただきました。先生は家畜や鳥類などの感染症の研究をされており、バクジャン大学に来る前に JOCV の活動の一環で世界中を周って出会った珍しい家畜のことや、現在取り組まれている研究内容など興味深い話を聞くことができました。研究内容については専門的なことまで詳しく説明してくださり、難しいところもありましたが、質問するととても丁寧に補足していただき理解を深めることができました。



↑ 3 日目 バクジャン農林大学にて



↑ 4 日目 NIHE にて

4 日目(NIHE)

4 日目は再び NIHE を訪れ、長谷部先生のお話をお聞きしました。人獣共通感染症についてのお話では、アフリカやベトナムで実際に行われたコウモリや牛の調査について具体的な内容を教えてください、私たちの今後の課題研究の参考となることを先生の実体験から多く学ばせていただきました。また、蚊と蚊の媒介する病気についてご教授いただいた際には、実際に蚊の養殖と実験が行われている研究施設を見学させていただきました。私たちの課題研究の内容とは直接のかかわりはなかったものの、蚊の感染症という世界規模の問題についてのご講義は、私たちの世界についての理解を深めるうえで、たいへん意義のあるものであったと思います。ご講義のあと、長谷部先生は私たちの研究やそれに限らず今後の人生の歩み方についても多くの助言をくださいました。長谷部先生がその中で、人とつながり協力することの大切さを説いてくださったとき、長谷部先生をはじめとして多くの方々のご協力なくして今回の研修旅行の成功はなかったのだと強く実感し、その協力には大変感謝しています。人の協力なくして物事は成らないこと、私たちの前には同じ志をもって課題研究に挑んできた、私たちの助けとなってくれる多くの先人がいること、それらを今回の研修旅行で知ることができました。短い期間でしたが、貴重な経験ができました。今後、今回の研修で学んだことを活かして、私たちの研究を充実させていきたいと思っています。